

こゝが出来る。

子供を養育するのに母の情愛と父の叡智が必要であるやうに、子供を保育するのにも愛と方法とが兼ね備はらなくてはならぬ。愛のみに頼る教育が不當であることは、方法のみに頼る教育が不当であること相等しい。

私は今回並びにこの後の機会に於て、教育の方法を論講して、將來の保育に對して幾分でも理性の杖を提供して行きたいと思ふ。然し乍ら、私の提供するものは、何處迄も單なる方法であるに過ぎない。之を活かすは活かさぬとは結局諸君の愛の深さの如何によつて定まるのである。

プロジェクト手技製作について

及 川 ふ み

この夏の幼稚園協會の講習の項目の一つに「プロジェクト手技製作」を入れていただきました。

見出しだけ見るに、みんな新案な手技製作か、少々好奇心をおこして下さつた方もあつたでありますし、又實際講習會に、當日に入會を申込みながらプロジェクト手技はむづかしいのでせうか、私に出来るでせうか、と御心配そうにおたづねになつた方さへありました。

何とこの名はめんごうくさい様な、むづかしい様な氣持のする名でありませう。

けれども幼稚園の手技製作はその名の思はせる様な、めんごうな、むづかしいものであつてはならないのであります。

動物園あそび、おもちゃあそび、水族館あそび、汽車あそび、魚つりあそび

こいふ様に、一つの遊びの目的を定めておいて、それに入用ないろくろくものを製作するこいふのがこのプロジェクト手

技製作なのであります。

例へば「動物園遊び」さいふものを幼児だけで定めたり、或は保母と幼児と相談の上できめたり、又は保母だけできめたりしておいて、その動物園遊びに必要な、いろいろの動物、その動物を入れる柵、動物の小屋、園内に配する種々の木、餌をうる店、入場券賣場、動物園開園の廣告のびら、招待状など、一つの動物園遊びに入用なものを次ぎ々こしらへてゆくのが、即ちこのプロゼクト手技製作であります。

何々遊びをする、幼児がよろこびそう、教育的のこころもあり、さいふものを考へ出すこころにこのプロゼクト手技製作がむづかしいので、その遊びの道程は決してむづかしくてはならないのであります。幼児はなか／＼氣の短いもので、興味がわけばその興味の湧いてる間に結果の出来るのをまつてゐるものであります。折角こんなものを造つて見たい、この遊びにあんなものがあればさぞ面白からうと考へればすぐにそれがほしくなる。そのすぐの間にあはせてつくられるものがほしいので、作られるものなるべく簡單なものがよいのであります。

動物園遊びのうちで、その遊びの主體となるものはさうしても動物でありませう。

この動物を簡單に、しかもそのものゝ感じをよくあらはすさいふこころに苦心致しました。

幼児は動物園へ、家庭の人たちに度々つれてゆかれて動物には親しみはあります。そしてその顔や形を平面的にあらはすこころは比較的容易にいたします。たゞ立體的にその胴をつくるのがむづかしいのであります。この六ヶ敷い、比較的材料の澤山に費す胴を至つて簡單に、材料もかゝらない空箱で造る事を考へつきました。空箱の胴をその肢の部分だけくりぬいて顔と尾をつけるのであります。

これなら至つて簡單に幼児たちにも動物の胴がつくられます。夏帽子の鼠色の箱がありました。鼠色だけで象と思はれましたので翌日幼稚園で象の肢をくりぬいてゐるこ、幼児が登園してまゐりました。象をつくつてゐるのですから、その

蓋で顔をつくつて手傳つて下さい顔をつくつてもらひました。小さい尾もこしらへてくれました。こゝに簡単に象が一匹出来上りました。次に茶色の箱で馬をつくり、白い大きな空箱で白熊をつくりました。長細い箱できりんをつくり、虎をつくり、うさぎをつくつてこゝに數種の動物が數日のうちに出来上りました。

この動物を主體として、お部屋の一部に動物園をつくり出して夏やすみになりました。

龍宮城

空箱を横にして龍宮城つくり

鯛や、平目、かつを、なぎ幼児のよくしつてゐるおさかなを自由畫してかゝせ、それをきりぬいて數匹の魚をこしらへて、糸で上よりつるして、さんご、こんぶ、なぎを配して前景として箱の奥に龍宮城をはりつけます。

これは個人的の製作として、一人の幼児がいく日もかゝつて或る日は數種のおさかなをつくり、或る日はこんぶ、さんごといふ様につぎ／＼に製作をつゞけてゆくのであります。

この同じ龍宮城をつくるにしても、規模をすつゝ大きくするに、部屋の一部を龍宮のバックとしてこゝに共同的に大小數種のおさかなを製作して、海底には岩をつくり、たこや、ひみで、その他の貝類を粘土でこしらへて、多人數の幼児で數日間製作をつゞける事が出来るのであります。

たゞ二間も三間もある大きなバックにつり合ふだけの大きなおさかなを、幼児にはじめからいきなりつくらせる事は一寸容易の事ではなからうと思はれます。大きな紙をあてがはれても、それをその紙の大きさに充分にかきこなすのは、大勢の幼児の中にもそんなに澤山にはない事と思はれます。それで、はじめは、個人製作の小さいものをつくつて、だんだんに大きなものに移ればぎの幼児にも比較的によく出来るのではなからうかと思はれます。

こゝに保姆として注意しなければならぬ事は、形のミゝのつた、色のきれいな所謂よく出来たおさかなをえらんで龍

宮に配するものではありません。幼稚園の特技製作は、技巧のすぐれたものをのみみるものではありません。技巧のみを教へるのでもありません。上手下手を度外視して、つくられたぎの幼児のものもその中に吊されてゐるこいふ事が重大なこゝであります。

尙ほこのプロジェクト主義製作は概して全組の幼児がこぞつて製作にあづかり、又はその組の半分或は三分の一の幼児こいふ様に、共同製作が主體であるのでありますから、すべてに發表力の強い幼児がより多く製作するこいふ傾向になりやすいものであります。そこでその指導者たり、相談役たる保母は、すゝんでは、よりよく出来る幼児をのばすこ同時に、他方あまり活動しない幼児をいつも注意して、なるべくこの人たちにも手傳はせる様に細心の心づかひを忘れてはなりません。

こんな老婆心から、専らこのプロジェクト製作にかゝりはじめました。四月の末頃から私は、自分の受持の幼児の各兒に、日誌を記しはじめました。一日の保育を終へて、幼兒を玄關におくり出した後、再び保育室にかへつた時に、靜かにその日の出來事を思ひ浮べてつき〜各幼兒の欄の上に記してまゐります。そして一週間の終り、或は十日の終りにそれをしらべて、積極的にはその各兒がその長をます〜のばす様に、消極的にはその幼兒のおきざりにならない様にこ自らの目やすをこしらへております。